活動報告（１０月リポート）

担当：静岡県西部農林事務所地域振興課

表題：環境負荷低減技術の導入に向けた実証がスタート 【グリーンな栽培体系加速化事業】
日時：令和８年１０月１３日（火曜日）
場所：静岡県浜松市天竜区

浜松市旧浜北区では、スイートコーン、サニーレタスによる輪作体系が確立されていますが、農地の集積・集約化や大規模化、持続可能な農業を実現するためには、栽培体系の見直しや省力化が求められています。

そこで、３名の生産者が中心となって協議会を立ち上げ、令和８年度みどりの食料システム戦略緊急対策交付金のうちグリーンな栽培体系加速化事業を活用し、①ドローンによる農薬散布、②交信攪乱剤による防除、③生分解性マルチの導入を試験しています。

令和８年 10 月 13 日、交信攪乱剤の設置のため、メーカーによる説明会が行われ、説明後に実際に取り付けを行いました。
また、生分解性マルチ試験区において、地温測定のための温度計を設置しました。

今後、交信攪乱剤による防除効果や省力効果を調査するとともに、生分解性マルチの性能比較を実施していきます。

西部農林事務所では、引き続き事業のコーディネートや技術指導を実施していきます。



説明会の様子



交信攪乱剤攪乱剤の設置の様子